

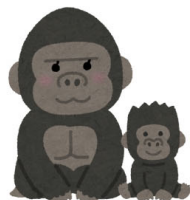
## 地域全体で、子どもたちの☆輝く笑顔☆を守り、育てましょう！

田川市教育委員会 教育長 きりゅう けいじ 吉柳 啓二

令和2(2020)年、新しい一年が始まりましたが、市民のみなさんは、いかがお過ごしでしょうか。

4年前から行政と学校現場が一体となって進めてきた田川市ぐるみの学力向上策(読み書き計算の徹底反復学習、電子黒板などを活用したICT教育など)の成果が出始め、県内外から視察が増加しました。しかし、全国的にも問題となっている「学力の2極化」「不登校の防止」などの課題は依然、本市にとっても大きな課題のままです。そのような中、令和元年、市内の若い親による乳幼児への「虐待事件」が発生しました。

ゴリラの野外研究で有名な京やまぎわじゆいち都大学の山極壽一総長は次のように述べています。



「人間の赤ちゃんは、ほかの類人猿に比べて未熟な状態で生まれてくるうえ、成長するのに長い年月がかかる。本来、子育てには見返りを求めない“家族”と互いの役割を認識し助け合う“地域共同体”が不可欠である」

人類は何百万年という長い期間、“子育て”を母親や家族だけでなく、まわりの人々や地域共同体とともにやってきたのです。

「孤立する家庭」「個食」「子どもの遊び集団の崩壊」が社会問題化している今こそ、学校と家庭・地域の連携強化が求められます。一人ひとりの子どものよさ・個性を伸ばし、健やかに育てることに学校だけでなく、思いやスキルを持つ保護者や地域住民のみなさんがかかわることで、子どもたちの学びのフィー

ルドが広がり、豊かな出会いや体験が可能になります。このような学校・家庭・地域一体の取り組みによって、変化の激しいこれからの社会に求められる学力、“生きて働く知識・技能”“思考力・判断力・表現力”“学びに向かう力・人間性”も形成されると考えます。また、子育てやよりよい学校づくりに、地域住民のみなさんの思いや教育力が生かされることで、地域住民のみなさんの生きがい生まれ、子ども・教職員・地域住民同士のつながりも強化されます。(登下校の見守りをしている地域ボランティアさんにお礼を言うと「いえいえ、私こそ、子どもたちから元気もらっています！」という声が返ってきます。)

新学習指導要領にも「よりよい学校づくりをとあして、よりよい社会づくり」「どのような子ども・学校・地域をめざすかを学校・地域・家庭が共有すること」の重要性が書かれています。今後、市長部局・PTA・校区活性化協議会などと協議しながら、「さらなる開かれた学校づくりの推進」と「地域学校協働活動や教育ボランティアの拡大」に取り組み、「地域社会全体で、すべての子どもの見守り、健やかに育む教育環境づくり」を強化していきたいと思ひます。

市民のみなさんのご協力と応援をお願いします。



↑ 地域の人による絵本読み聞かせ



↑ 児童の学習を見守る地域のみなさん



# 新成人が自らの手でつくり上げた成人式

1月12日(日)、田川文化センターで田川市成人式が開催されました。

この日会場に集まったのは、約330人の新成人。

今回は、新成人の中から立候補した12人が実行委員を務め、昨年8月から式の企画運営に携わってきました。

ここでは、実行委員の一人である、<sup>まつざきかのん</sup>松崎夏音さんの体験レポートを紹介します。



8月から毎月2回、実行委員で集まり、式の流れや抽選会の内容などを中心に、話し合いを進めました。

式のオープニングとエンディングには、小中学校の恩師からのビデオメッセージを流すことに決め、実行委員が各学校を回り、取材、撮影したものをビデオメッセージに編集しました。



←タブレットを使って当日撮影資料の打合せ

→本番直前！緊張の面持ちで最終打ち合わせ



いよいよ当日。第一部では、厳かな雰囲気の中、市長をはじめ、来賓のみなさんからの祝辞や、新成人の意見発表が行われました。

ここでの私の役割は司会でした。名前の読み間違いがないか、司会進行がスムーズにできるかなど何度も練習し、とても緊張しましたが、無事に終えることができました。



第二部では、昨年、田川市で撮影された映画「夏、至るところ」の監督を務めた、池田エライザさんからのビデオレターの上映や抽選会を実施しました。抽選会では実行委員会が用意した景品だけでなく、18の企業からいただいた協賛品を景品とし、大いに盛り上がりました。この協賛品は、実行委員会のメンバーが、実際に企業を訪問し、ご協力いただいたものです。



一緒に実行委員会で力を合わせた<sup>さかき</sup>紳<sup>こうし</sup>志実行委員長は「同じ田川市の同級生12人とはいえ、実行委員になって初めて顔を合わせる人ばかりだったので、それぞれの意見を聞いたり、限られた時間の中で運営したりすることが本当に大変でしたが、抽選会やビデオレターの上映に対する新成人の歓声などを聞いて、実行委員をやって良かった」と笑顔で話しました。

→みんなでやり遂げました!!



前日のリハーサルから成人式の直前まで、確認に確認を重ね、緊張の中始まった成人式でしたが、私にとって、一度しか経験できない、大変思い出に残る成人式となりました。

## 事務局からのお知らせ

令和2年度の成人式も実行委員会を組織して取り組みます。実行委員の公募の詳細は、広報たがわ4月1日号に掲載を予定しています。

◆問い合わせ 田川市教育委員会 文化生涯学習課 ☎44-5110

## 弓削の防災教育の取り組み

田川市教育委員会は、国の学校安全総合支援事業の委嘱を受け災害安全の分野で、弓削田小学校をモデル校として取り組みを進めています。その弓削田小では、被災した地域のみなさんとの交流学习を行ったり、田川市安全安心まちづくり課と連携して校区の安全マップを作ったりするなどの学習に取り組んでいます。

4年生は、9月6日に朝倉市立松末小学校、JA筑前あさくらを訪問しました。松末小では松末地域コミュニティ協議会事務局長の日隈繁夫さんから被災時の状況や復興の様子、災害における心得などの話を聞きました。JA筑前あさくらの濱崎俊充さんからは、土砂や流木が流れてきたまちの様子やまちを復興させる人々の努力について学びました。



### こどもたちのこえ

土砂崩れを見たときこんなにすごいと思いませんでした。これから自分の家族やいろいろな人の命を大切にしたいと思いました。もしも田川市にこう水が起きたときに日隈さんが教えてくれたことを思い出します。

6年生は、10月21日に熊本市立出水南小学校を訪問し、交流学习を行いました。出水南小には4年前の熊本地震の際に弓削田小が支援を行った経緯があり、今回の交流学习が実現したのです。交流会では被災時の状況と余震の中での避難所での様子や学校での防災訓練などについて出水南小6年生に説明してもらい、グループごとに質問や意見交流を行いました。そして、地震避難訓練のときに、交流学习で学んだ避難訓練の大切さや自然災害への備えの重要性について発表しました。



## 英語スピーチコンテスト

第2回福岡県中学生英語スピーチコンテスト田川市大会が、11月1日に田川市民会館にて田川市のALT(外国語指導助手) 進行のもと英語一色で行われ、今年は、約40人の保護者や教員が、スピーチに聞き入りました。

大会に参加した生徒は昨年度より7人多い18人で、課題の部と自由の部でスピーチしました。課題の部は「Tagawa and its charms」を題材に、田川の魅力を四季に沿って紹介したものです。審査は、青山学院大学文学部の木村松雄教授を審査委員長に迎え、ALT、各中学校英語教諭などの計13人で行いました。

厳正なる審査の結果、成績優良者の猪位金学園の井上七璃さん(8年生)、弓削田中の山口蒼生さん(2年生)・城戸愛理加さん(3年生)、鎮西中の三村真白さん(2年生)、伊田中の川上大翔さん(3年生)、金川中の前田陽向子さん(3年生)・待永桃花さん(2年生)、中央中の篠原未悠さん(1年生) 8人が筑豊地区大会に推薦されました。

さらに、11月9日に県立嘉穂東高校で開催された筑豊地区大会では、城戸さんが最優秀賞を受賞し、県交流会にも出場を果たしました。田川市からの最優秀賞受賞は2年連続となり、スピーチ力のレベルが年々上がってきているのが実感できる大会となりました。



◆ 問い合わせ ◆ 田川市教育委員会 学校教育課 ☎85-7167

## 教えて! 再編ススくん

新中学校のイメージ図をお知らせします!



〔東中学校(仮称)〕



〔西中学校(仮称)〕

※画像はあくまでイメージ図であり、実際の建物とは異なる場合があります

現在、新中学校の基本設計を行っています。生徒のみなさんが親しみを持ち、豊かに学べる教育環境をつくとともに、地域における新たなコミュニティとしての場や防災機能の充実など、あらゆる角度から検討を重ね『みんなの魅力ある学校』の実現を目指します。

◆ 学校再編に関する問い合わせ ◆ 田川市教育委員会 新中学校再編推進室 ☎85-7169

# 田川市石炭・歴史博物館子ども学芸員にチャレンジ!

田川市石炭・歴史博物館では、次世代を担う子どもたちが地域の歴史や文化に興味を持ち、将来へ伝えていくために「子ども学芸員講座」を開始しました。

そこで、子ども学芸員としてがんばる子どもたちの様子を紹介します。



## 第1回 11月30日

### 世界の博物館について 知ろう

台湾の博物館関係者による英語、台湾語でのお話を聞いて、自分たちも英語や台湾語を使って交流しました。



## 第2回 12月7日

### 博物館で自分のお気に入りを見つけよう

普段は見ることができない博物館のバックヤードも見学して、展示資料から自分のお気に入りを見つけました。



## 第3回 12月21日

### お気に入りについて 調べてみよう

博物館で見つけたお気に入り資料について、博物館の本や学芸員の説明を聞いて、調査カードにまとめました。



今後は、ユニバーサルミュージアム（誰もが利用し、楽しめる博物館）について触れたり、国指定史跡となった三井田川鉱業所伊田坑跡や炭坑節について学んだりと盛りだくさんのプログラムを予定しています。

また、来年度も引き続き開催いたしますので、ぜひご参加ください!

## 令和2年度田川市石炭・歴史博物館山本作兵衛 コレクション原画企画展を開催します!

令和2(2020)年、56年ぶりに日本でオリンピック・パラリンピックが開催されることを記念して、1964年の東京オリンピックと田川についての企画展を開催します。

広報たがわの1月から3月までの15日号に、コラム「オリンピック×田川 1964→2020」を掲載しています。ぜひご覧ください。

◆会期(予定) 4月28日(火)～  
7月26日(日)

◆開館時間 9時30分～17時30分  
(入館は17時まで)

※ただし、炭坑記録画原画の展示は5月24日(日)まで

### 【資料を募集します】

企画展開催に伴い、東京オリンピックに関する写真の情報を募集しています。詳しくは問い合わせください。

◆問い合わせ 田川市石炭・歴史博物館  
(TEL・FAX: 44-5745)

